



仕事の風景探訪プロジェクト

Exploring new civil engineering works

ニュースレター Vol. 2



「建設コンサルタントならではの知恵と工夫で酒蔵を再生～瀬戸酒造店～」 【予告記事】

【事例キーワード】

①技術のチカラ、 ②デザインのチカラ、 ③自然のチカラ、 ④コミュニティのチカラ、 **⑤記憶のチカラ**

みなさん、こんにちは。WGリーダーの岡田智秀（日本大学工学部）です。

前回のニュースレターでご案内した、「仕事の風景探訪」の取材が次々に進んでいます。

まもなく公開する第1号事例は、“建設コンサルタントによる酒蔵再生からのまちづくり”がテーマになります。

当事例は、建設コンサルタント会社（㈱オリエンタルコンサルタンツ）が地方都市（神奈川県開成町）の酒蔵（瀬戸酒造）を買い上げ、素晴らしい日本酒を製造しつつ、隣接する離れの古民家の指定管理者にもなって日本酒が堪能できる古民家レストランを営み、酒蔵の風景の再生とまちづくりを実現したチャレンジングな取り組みになります。

私とこの事例との巡りあわせは、瀬戸酒造のお酒を飲んだ際にあまりの美味しさに驚き、酒蔵を表敬訪問した際に、はじめて建設コンサルタントが運営していることを知ったことに始まります。その経緯を聞けば聞くほど興味津々となり、ぜひこのチャレンジングな取り組みを皆様に知っていただきたいと思い、取材を進めるに至りました。

今回のライターは、「かわいい土木みつけ旅」でお馴染みの土木ライターの三上美絵さんです。

とても興味深い記事にまとめていただきました。

どうぞご期待下さい！



瀬戸酒造の森社長(株オリエンタルコンサルタンツ社員)と
土木ライターの三上さんとともに、トゥクトゥクで町を探訪



美しい田園風景の中に佇む瀬戸酒造の夕景

(了)